(1)

介入内容は支援資材を用

に薬剤師による説明やセー

グラムを構築した。

2年目となる24年度は研

実地研修で構成されたプロ に歯科医師監修のウェブ・

日、医療保険制度

員(日本医師会常任理事) 見直しをめぐり城守国斗委

医療保険部会は16 社会保障審議会|

のうち同意を取得した31 薬局の薬剤師39人に参加し 修を修了した健康サポート

入群で31・8%、非介入群

しもらい、27薬局の来局者

介入群に分け、薬剤師が両 4人を無作為に介入群と非

者のうち6カ月時点で予 で28・8%だった。非受診

に対して口腔の健康状態

康サポート能力向上を目的

|回、約3カ月後、約6カ月 なっており、6カ月間に初

薬局薬剤師の口腔の健

厚労科研の1年目事業で|ルフチェックの指導等と

台が定期歯科健診受診者と同程度まで増えた。 **受診行動を起こすことで非オーラルフレイルの割** が大きかったが、薬剤師の介入により非受診者が ル(口腔機能の低下)でない者の割合が増加する 科受診率が上がり、受診によりオーラルフレイ

健康サポートを半年にわたって実施することで歯 健康サポート薬局の薬剤師が地域住民の口腔の

診群のうち6カ月間で受 割合は、初回の33・3%か

|ら6カ月経過後では47・|約者が多く、薬剤師が口腔

が6カ月後までの受診・予 |健診を受診していない人だ

口腔の健康サポートに特化 に勤務する薬剤師を対象に

認された。

プログラムの内容や構成を

担を拡大することも検討す

今後、薬剤師向けの研修

検討し、研修を全国に展開

していく必要性も示してい

いても厳格な精査が必要」 べき。医療上の必要性につ 発品の価格差の全額まで負 長代理)も、「先発品と後

者委員などから相次いだ。 と求め、同様の意見が保険

中医協総会

一方、健康サポート薬局

う意識が向上する効果も確

員(健康保険組合連合会会

で口腔の健康サポートを行

るような仕組みの構築を求 の有無に関しても確認でき

けで見た場合に介入群の方

割合の変化は、初回の非受 後の非オーラルフレイルの|

者の非オーラルフレイルの

最後まで受診しなかった

厚労科研

腔健康サポ

表者:慶應義塾大学薬学部山浦克典教授)で明ら ことが、2024年度厚生労働科学研究(研究代

ベルまで改善した。 定期歯科健診受診者と同レ ら60%へと有意に増加し、 診・予約した者では30%か

> さい伸びにとどまった。 4%と受診者群に比べて小

診行動を起こす動機づけに 健康サポートすることで受

師では口腔の健康サポート したところ、受講した薬剤 した研修プログラムを実施

に関する自信が付き、薬局

る。

研究班は「定期的に歯科」なる」と考察。

非受診者に比べて非オーラルフレイルの割合

出 きょうの紙面 薬事審議会…

薬事日報社

東京本社 〒101-8648 東京都千代田区神田和泉町1 ☎ (03) 3862-2141 ☎ (03) 3862-2141 ሺ (03) 5821-8757 大阪女社 〒541-050 大阪市中央区道修町2-1-10 ☎ (06) 6233-3681 順 統料 半年19,7684 (稅込) 1 年36,234円

アクーゴ出荷制限解除

業務の成果発信を

日薬大会……3 肥満症治療体制構築へ

イーライリリー、ノホ゛ 特集 4~5

〈痔疾ケア〉

本号8ページ

か重要」と指摘。 現状では

歯科健診受診者の洗い出し 策の一環として健康サポー

ト薬局の活用が期待される また、「薬局における非

健康寿命延伸に向けた施

◆コロナ禍で

を集めた。現在は完全出

多くの県で転出が止まら 禍前の水準に戻ったが、 社への回帰が進み、首都 圏への転入超過もコロナ れ、地方移住 クが導入さ の動きが注目 は

は一部企業で

るため、大学では地域 携する動きが活発になっ 確保に向けて自治体と連 枠入試制度の設置や人材 方の薬剤師不足を解消す が反映されているが、地 別偏在指標にもその実態 ている。明治薬科大学で 一昨年度に新設した 区薬系4大学でも、実習 知識と人材を地方のニー を持つ学生が着実に増え を通じて地域医療に関心 算事業に参加する東海地 を派遣する文部科学省予 ◆薬剤師不足地域に学生 つけてきたが、蓄積した 大学は地方の若者を惹き ているという◆都市部の したい」と手応えを語る

!

ず、地方と都市部の医療

認するのは薬剤師が意識的 楽局において歯科受診を確

| 口頭で行うしかなく、マ

けている◆薬剤師の地域 インフラ格差が広がり続

健診の確認が可能になるの

イナ保険証の紐付けによる

数が志望し、越前宏俊学 る限り長く地域枠を継続 験してくれており、でき 長は「志を持った人が受 地域枠に定員を上回る・ 力ギとなる。 ズに還元することが人口 が急減する地方活性化の

OTC類似薬 保険除外 漢 否

とは考えにくい」と指摘し ら除外しても問題が生じる 類似薬を保険給付の対象か れないのであれば、OTC

類似薬の保険給付のあり方 | られるわけではないといっ | C医薬品を使用してきた人 | 認識は一致した。 長期品は全額 負担 要求も

制度の枠組みの中で議論し た課題も踏まえ、医療保険 はおり、それで問題が見ら

また、長期収載品の選定 が先発品に劣って 中村氏が「後発品 療養については、 いるエビデンスが

児、慢性疾患患者、低所得 者などへの配慮が必要との たが、いずれの委員も小 ないため医療保険 で給付すべきでな

剤体制加算 の後発品調 6年度調剤 めぐり議論 のあり方を 議会総会が |続を要求した。

報酬改定で | う。 患者への安定した医薬 れ、202 を食いしばって頑張ってい る現場の心が折れてしま 品提供のために対応してい の評価を止めてしまえば歯 後発品に関する診療報酬ト い状況を説明した。 その上で「26年度改定で

連合会理事)は 本真人委員(健康保険組合 な視点が重要」と評価の継 る現場の努力を押せるよう これに対し、支払側の松 「後発品調

ない」と指摘。佐野雅宏委 | としての役割は終えたので 続していくものだ。医薬品 供給不安の解消の出口は見 |発品の説明などの業務は継 方の備蓄管理、患者への後 局では先発品・後発品の両 上がったからといって、 廃止すべき」と応酬した。 化したという薬局が43・ えておらず、1年前から悪 1%に上る」と薬局の厳し 森氏は一後発品使用率が OTC医薬品にスイ

~OTC医薬品がニッポンの医療を救う

日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 OTC医薬品分科会

"OTC類似薬"、さらには海外の事例まで幅広く網羅し、セルフメディケーションの 重要性やヘルスリテラシーの向上に向けた戦略を詳しく掘り下げています。

OTC医薬品の歴史から、OTC医薬品の開発過程、スイッチOTC、昨今話題となっている

書籍の詳細・ご注文はURLまたはQRコードからオンラインショップ ⇒ https://yakuji-shop.jp/

イル(印刷物含む)を社内資料、営業資料などでご利用される場合はご相談ください

に関する調査とパンフレッ | 入群で34・1%、非介入群 が有意に多かった。 析すると、初回から6カ月 を合わせた対象者全体で解 約・受診をしていた者は介 で16・7%と介入群のほう 方、介入群と非介入群 た長期収載品に関しても先 が複数あった。 患者負担にすべきとの意見 発品と後発品の差額を全額 出た。選定療養が導入され この日の部会で、

配布を行い、介入群には

期歯科健診の非受診者は介 4人だった。初回時点で定 健診の受診率向上と口腔の 後の計3回行い、定期歯科 健康状態の変化等を比較し データ解析対象者は25

委員が「時期尚早」とする 方見直しについては、医師 医療保険部会 の保険給付のあり する議論を開始し 改革のうち、薬剤 た。OTC類似薬 給付のあり方に関 勢を示した。村上陽子委 期尚早であり反対」との姿 重篤疾患の早期発見・治療 は、患者の自己判断により の機会逸失等を懸念し、「時

保険給付除外を求める声も 一方、保険者委員などから と同調した。 言)も「慎重な検討が必要」 前副事務局長・代理人が発

薬品について「全ての薬局 師会副会長)は、OTC医 されているわけではなく、

員(日本労働組合総連合会 |きなり完全な除外は無理だ | でも多忙などの理由でセル 学経済学部教授)も「今ま きに検討すべき」と訴えた。 による自己負担導入を前向 が、せめて一部の適用除外 |用除外も考えてほしい。い 政状況を踏まえると保険適 中村さやか委員(上智大

した場合の後発品

は「保険者全体の厳しい財 国健康保険協会理事長) に対する理解を求めた。 ていくもの」と薬局の現況

一方、北川博康委員(全

の自己負担にすべ との価格差は患者 が生じ得るエビデ 「医療上の必要 定した提供体制を確保する し、支払側委員は「後発品 価継続を主張したのに対 会長)は「医療現場での安 昌平委員(日本薬剤師会副 える薬局が増加する中、森

一同加算の廃止を求めた。

べき」と要求した。

また、支払側の各委員も

性」については、

き」と求めた。

スイッチょる

外の無断複製・無断転載・無断引用はで

B5判/176頁 定価2, 200円(本体2,000円+税)

い。先発品を使用 後発品調剤加算で応酬 「廃止か継続」の議論に

品調剤割合 が90%を超 した。後発 に減算する仕組みに移行す して基準を満たさない場合 割合やカットオフ値を設定 支援体制加算に後発品調剤 剤体制加算は廃止し、地域

OTC医薬品に

で安定的に流通経路が確保 渡邊大記委員(日本薬剤

TEL:03-3862-2141 shinbun@yakuji.co.jp http://www.yakuji.co.jp/ 禁無断複製・禁無断転載・禁無断引用 禁無断複製・禁無断転載・禁無断引用 禁無断複製・禁無断転載・禁無断引用 禁無断複製・禁無断転載・禁無断引用